

事案名	赤穂市の事案（兵庫県28-5）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『朝日新聞』大阪昭和53年9月26日〔1〕 ・『神戸新聞』昭和53年9月26日〔2〕 ・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）平成15年10月6日〔3〕
資料内容概要	<p>昭和53年9月に兵庫県赤穂市内の教育施設で、毒ガス標本が発見されている。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市内の教育施設の理科準備室陳列戸棚に毒ガスの標本らしいものが入ったビン6本が置かれているのが見つかった。いずれも液状、凝固状、粒状の薬品のような物が入っており、高さ30cm、直径7.5cmの木製カプセルをかぶせ、標本用の木製の台に置かれてあった。ラベルには「ルイサイト」（液状）「クロルピクリン」（同）「ホスゲン」（同）「クロルアセトフェノン」（同）「イペリット」（凝固状）「ジフェニルシアンアルシン」（粒状）と毒ガスの名称が書かれていたため、赤穂署に届け出た。同校は、昭和38年4月に移転改築した現在地に移ったが、戦時中、旧施設に一時、海軍が駐屯したことがあり、そのころに毒ガスの標本として置かれていたものを新施設に移転したとき知らずに持ってきたらしいとしている。同標本は、昭和53年9月25日夜、伊丹陸上自衛隊の処理班に引き取られた〔1〕〔2〕。 ・昭和53年9月20日付の『毎日新聞』で、大阪府内の教育施設で毒ガスが発見された旨の報道がされたことから、赤穂市内の教育施設の理科準備室を調査したところ、危険な薬物と思われる薬品標本6本を発見した。実物かどうか不明であったが直ちに教育委員会へ搬送し、市公害課において保管した。9月21日に市公害課および赤穂保健所の調査の結果、危険物と判断されたため、赤穂警察署へ処理を依頼した。内容物がラベルの表示どおりの物質であったのかどうか、また、自衛隊に引き渡された後、どのように処理されたかは不明であると記載されている〔3〕。